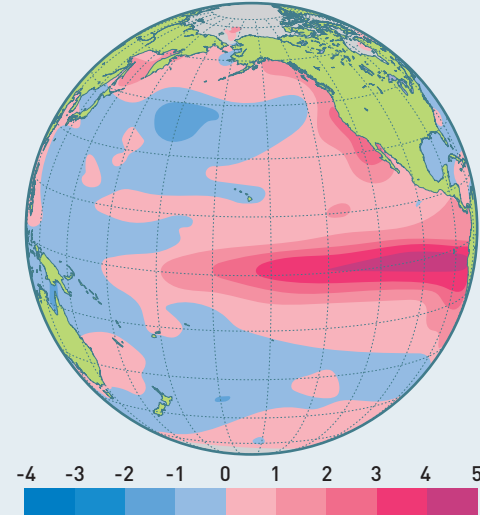


上昇する世界の気温

写真・画像：アフロ、気象庁HP



■ エルニーニョ下の海面水温年平均偏差
(1997年11月の月平均)

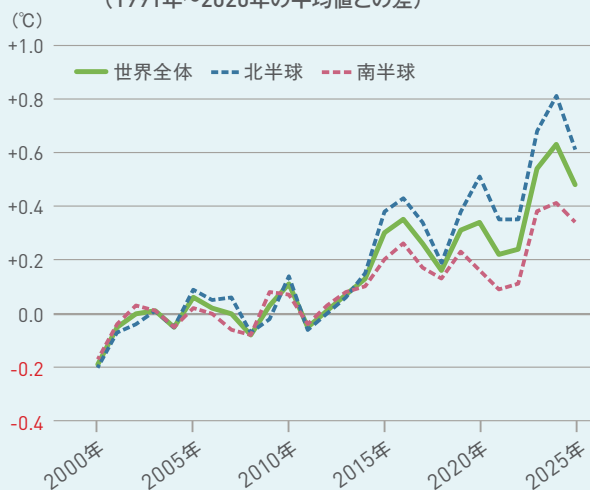


東京都心で過去最多の猛暑日を記録した2025年の夏。今夏は太平洋赤道域の海面水温が平年より高くなる「エルニーニョ現象」の発生が見込まれている。従来、エルニーニョ現象下では日本は冷夏になりやすいとされてきたが、暖かい太平洋高気圧の影響で、平年より高い気温になる可能性が高いとされている。右図は1997年～1998年に発生したエルニーニョ現象下の海面水温について、1997年11月の年平均偏差分布を示したもので、赤は平年より高く、青は平年より低く、色が濃いほど年平均偏差が大きいことを示している。

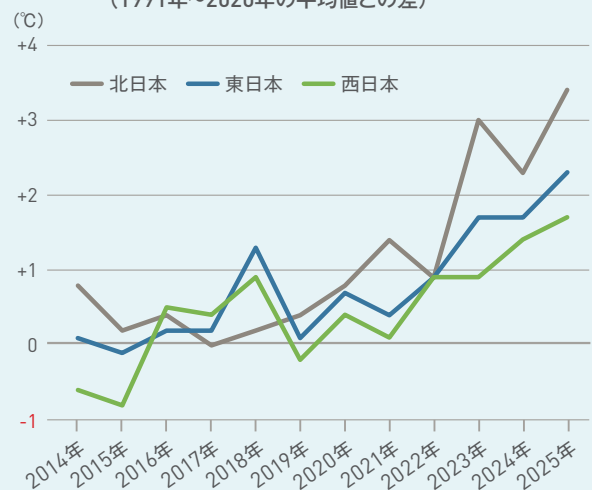
Summary

- 地球温暖化の影響により、世界の平均気温は長期的な上昇基調にある。
- 特に陸地の多い北半球では気温の上昇が顕著で、日本においてもその影響が顕在化している。
- 猛暑が予想される中で、空調や飲料、暑さ対策製品など、季節要因の影響を受けやすい分野への市場の関心が高まりつつある。

■ 図表1 世界の平均気温
(1991年～2020年の平均値との差)



■ 図表2 日本の6～8月の平均気温
(1991年～2020年の平均値との差)



(出所)図表1、2ともに気象庁資料をもとに当社作成